

令和3年度



# 園だより



文京区立根津幼稚園

## 挨拶の心地よさ

園長 小岩井 聡

この園だよりがお手元に届くときには、ゴールデンウィーク真っ只中。しかしながら、緊急事態宣言の再発出を受けて、遠くに出掛けたり、旅行に行ったりということが難しい状況であります。安全を第一に、近場でリフレッシュをしていきましょう。でも東京都からの命令だから…ではなく、自らの意思で感染症を広げないことを考えたいものです。「自ら主体的に考え、行動する力」は幼児期の教育でも大切にしたい力です。みんなでお互いを思いやりながら、頑張って乗り越えていきましょう。

さて、先日ほし組と上野公園まで園外保育に出掛けました。本来なら東京大学に行く予定でしたが、まだ外部の人が構内を散策することはできません。そこで行先を上野公園に変更して実施いたしました。これは保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそ実現できたことです。ありがとうございます。

不忍通りを公園に向けて歩き、公園内では不忍池の浮橋を渡って、辯天堂を回って帰ってくるというコースでした。今の状況では、園外でお弁当を食べることもままなりませんので、午前中のみ行程になります。それでも、みんな歩きながら、様々なものを見て、感じて、過ごしてくるよい機会となりました。

私は、この園外保育の中で、道すがらたくさんの方に「おはよう」「こんにちは」「いってらっしゃい」と声を掛けられたことが印象的でした。見ず知らずの方が、子どもたちに当たり前のように声を掛けてくださいます。この根津という地域を象徴するかのような光景でした。下町情緒と言ってしまうまでもありますが、それ以上に、子どもに対する愛着や、地域の大切な子どもたちという気持ちがそういう姿に表れているように感じました。子どもたちもそういう温かさを実感できる機会にもなったように感じます。

朝、私は玄関のところで子どもたちを出迎え、挨拶をします。元気な声で挨拶をする子、少し恥ずかしそうにする子、声はまだ出せないけど、目はしっかりと見ている子、とにかく中に入って保育室に急いでいきたい子などその様子は様々です。保護者の皆様からは「ほら、きちんとしなさい」という言葉がよく聞かれます。大人の挨拶をする時の「きちんと」です。でも、子どもたちにとっての「きちんと」は違うようにも感じます。朝、園長と声を交わしたい、挨拶をすると気持ちいいなど様々な感情をそこで体験することで、挨拶をしたくなってくれるといいなと思います。ですから、挨拶をする心地よさ、気持ちよさを伝えられたらいいなと思いながら、毎朝子どもたちを迎え入れています。

これからも、人との関わりが規制されることがあると思いますが、できるだけ子どもたちが人と人との触れ合いの中で様々な感情体験ができるように、教育活動の工夫を目指していきたいと考えています。保護者・地域の皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



不忍池で自然観察